

舗装の個別施設計画

七宗町建設課
令和7年8月

目 次

1.舗装の現状と課題

1.1 管理道路の現状

1.2 舗装修繕予算の現状

1.3 舗装の現状

2.舗装の維持管理の基本的な考え方

2.1 舗装管理の基本方針

2.2 管理道路の分類（グループ分け）

2.3 管理基準

2.4 点検方法・点検頻度

3.計画期間

3.1 計画期間

4.対策の優先順位（補修計画の方針）

5.舗装の状態、対策内容、実施時期

5.1 診断結果

5.2 対策内容と実施時期

1.舗装の現状と課題

1.1 管理道路の現状

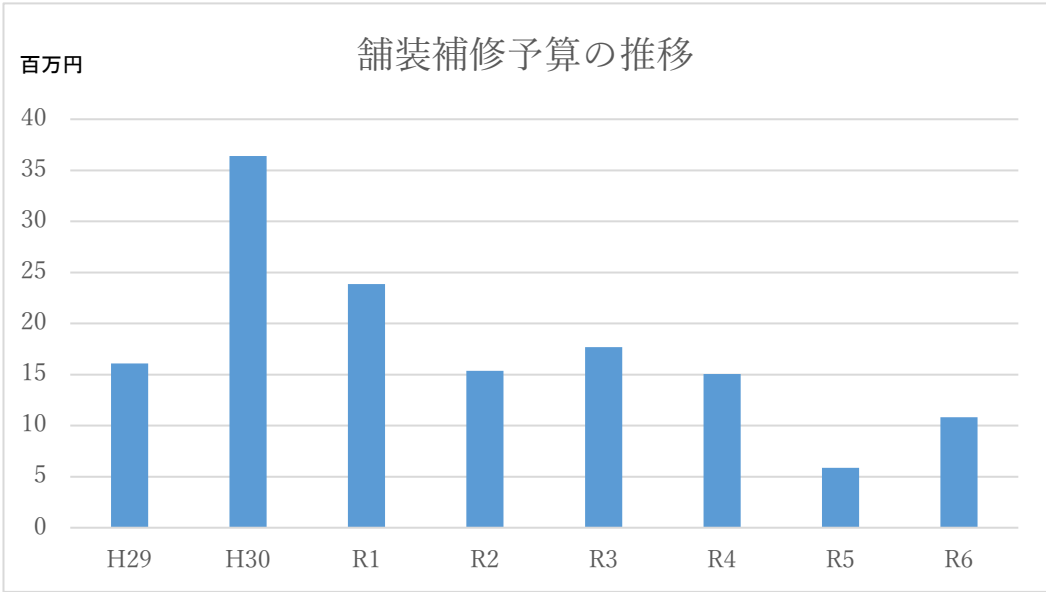
管理延長と舗装延長

道路区分	管理延長	舗装延長		舗装率
		AS 舗装	CO 舗装	
1 級町道	15.0km	12.4km	0.2km	84.0%
2 級町道	24.0km	15.9km	0.8km	69.6%
その他町道	76.4km	40.3km	1.9km	55.2%
計	115.3km	68.6km	2.9km	62.0%

※A s 舗装に簡易舗装を含む R7.3 時点

1.2 舗装修繕予算の現状

道路予算のうち舗装修繕予算は年度により変動はあるが、直近 5 年間では年平均 1,300 万円で推移している。



1.3 舗装の現状

七宗町が管理する 1・2 級町道のうち約 34.4km を対象として平成 26 年度に路面性状調査を「総点検実施要領（案）【舗装編】（平成 25 年 2 月国土交通省道路局）」に基づいて、舗装劣化の状況を把握した。

なお、路面性状調査を行っていないそれ以外の町道については、職員によるパトロール等での点検を行いながら、必要に応じた修繕等を行っている。

2.舗装の維持管理基本的な考え方

2.1 舗装管理の基本方針

舗装の個別施設計画の策定にあたっては、診断結果を踏まえた適切な措置を行うことで、道路舗装の長寿命化や舗装の維持修繕費のライフサイクルコスト縮減を目指す。

2.2 管理道路の分類（グループ分け）

大型交通量、路線の重要度等を踏まえ分類

分類	
分類 C の道路	1 級町道、2 級町道、その他町道の一部（幅員等が 1、2 級と同程度）
分類 D の道路	上記以外の道路

道路の分類のイメージ

特性		分類	主な道路※1 (イメージ)
・高規格幹線道路 等 (高速走行など求められるサービス水準が高い道路)		A	高速道路
		B	直轄国道
・損傷の進行が早い道路 等 (例えば、大型車交通量が多い道路)			
・損傷の進行が緩やかな道路 等 (例えば、大型車交通量が少ない道路)		C	補助国道・県道
		D	市町村道
・生活道路 等 (損傷の進行が極めて遅く占用工事等の影響が無ければ長寿命)			

2.3 管理基準

舗装補修対象とする基準は以下のとおりとする

ひび割れ率	わだち掘れ量
40%以上	40mm以上

2.4 点検方法・点検頻度

	点検方法	点検頻度
分類Cの道路	目視点検又は路面性状測定車	10年に1度
分類Dの道路	職員による巡視の機会を通じた路面状況把握	

3.計画期間

3.1 計画期間

当該個別施設計画の計画期間は、5年とする。

4.対策の優先順位（補修計画の方針）

舗装損傷状況、路線の重要性、交通量等を考慮し補修の優先順位を決定する。

5.舗装の状態、対策内容、実施時期

5.1 診断結果

平成26年度の路面性状調査による結果を基に「舗装点検要領（平成28年10月国土交通省道路局）」の健全性の診断区分に分類した結果は以下のとおり

	区分Ⅰ	区分Ⅱ	区分Ⅲ		
				Ⅲ-1	Ⅲ-2
分類Cの道路	18.3km	7.9km	7.6km		

区分Ⅰ：健全（損傷レベル小：ひび割れ率20%未満程度または $4 < MCⅠ$ ）

区分Ⅱ：表層機能保持段階（損傷レベル中：ひび割れ率20%以上程度または $MCⅠ \leq 4$ ）

区分Ⅲ-1：修繕段階（損傷レベル大：ひび割れ率40%以上程度または $MCⅠ \leq 3$ ）

区分Ⅲ-2：修繕段階（損傷レベル大：ひび割れ率40%以上程度または $MCⅠ \leq 2$ ）

5.2 対策内容と実施時期

別添対策路線一覧表及び対策路線図参照

番号	分類	路線名	区分	対策延長 (m)	点検 実施時期	診断結果	措置内容	対策 実施時期	対策費用 (千円)
1	C	下市場葉津線	2級	700	H26	区分Ⅲ	路盤打替え	R7～R11	40,000
2	C	追分万場線	その他	700	H30	区分Ⅲ	表層打替え	R7～R11	30,000
3	C	葛屋寺洞線	2級	800	R6	区分Ⅲ	路盤打替え	R7～R11	45,000